

岡山赤十字病院 南館 完成

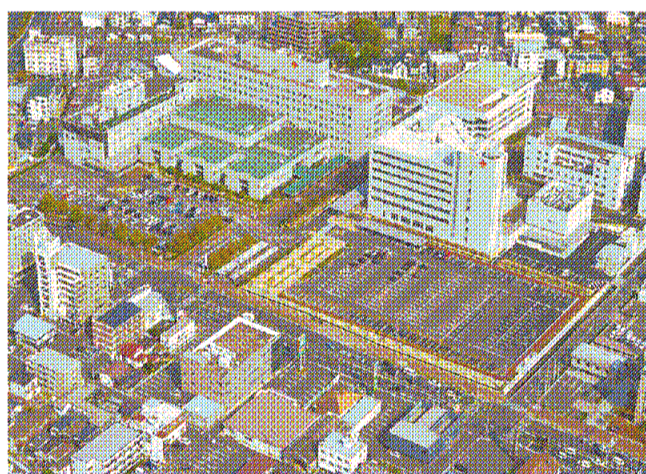
本日 5月1日(金) オープン



ごあいさつ
岡山赤十字病院
院長 忠川 正樹

「信頼され親しまれる病院に。」

「南館」は、1階にがん治療のための「外来化学療法室」と最新機種による「放射線治療室」を、また3階には産科・小児科による「地域周産期母子医療センター」を配置しています。当院は、救命救急センターでの「救急医療」と最新の「がん診療」を中心に、信頼され親しまれる地域の「マザー・ホスピタル」として、より一層社会に貢献してゆきます。



■ 全 景

新しい病室

プライバシーとアメニティに配慮し、南館の病室は個室と4床室で構成しております。床や壁の要所に木目調の仕上げを取り入れ、患者さまの緊張感を和らげる温かみのあるインテリア計画としました。重症個室など一部を除く個室にはトイレ、シャワー一体型ユニットを完備しております。



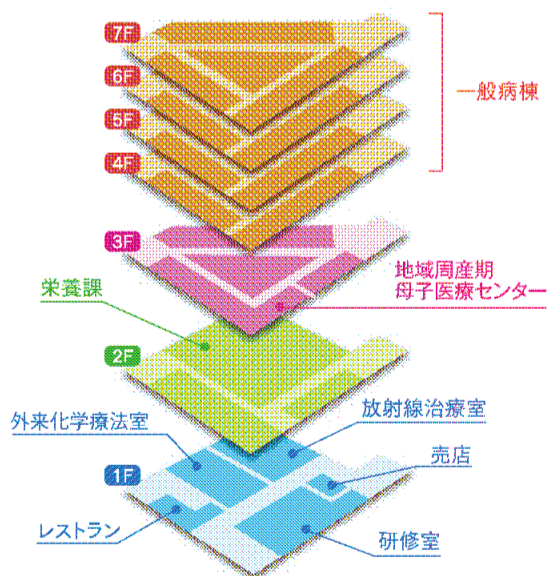
■ 個 室



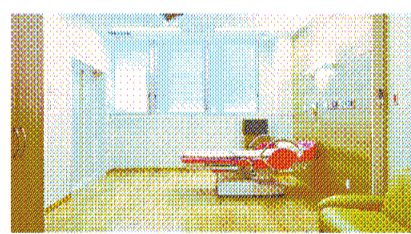
■ 4床室



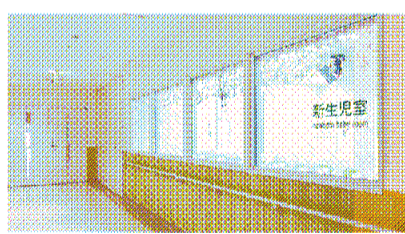
■ 食堂・ダイニング



建築概要	南館	エネルギー棟
建築面積	2,449.61㎡	855.21㎡
延床面積	13,171.64㎡	1,246.45㎡
構造	鉄骨造 (免震構造)	鉄筋コンクリート造 (耐震構造)
階 数	地上7階	地上2階
竣 工 日	平成27年3月31日	



■ LDR



■ 新生児室

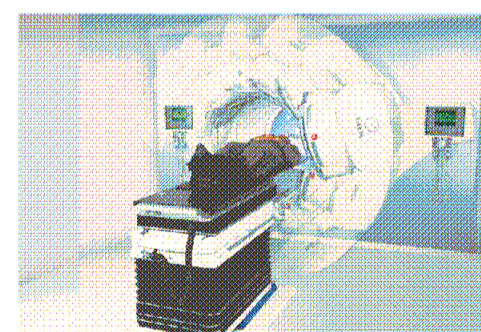
地域周産期母子医療センターとしての機能充実

ハイリスク分娩・新生児の救命を目的として、MFICU(母体・胎児集中治療室)、NICU(新生児特定集中治療室)、GCU(新生児治療回復室)を配置しました。また、妊婦がリラックスした中で陣痛・分娩・回復を同じ部屋で過ごすことができるLDRを新設、アメニティの向上と医療スタッフとの連携・協働により、安全に配慮し継続したケアを提供します。



外来化学療法室の充実

がん化学療法は、新規の抗がん剤が次々と開発され、副作用が軽く治療効果が高い方法が増えています。外来通院できることで、その人らしい時間を過ごしながら治療することができるようになりました。また、南館ではリクライニングチェアなど15床を整備し、テレビ・DVD鑑賞、読書等、治療の間も少しでも快適に過ごすことができるように配慮しています。



最新の放射線治療機器を導入

放射線治療室には、最新の高精度放射線治療装置(リニアック)を整備します(平成27年秋稼働予定)。

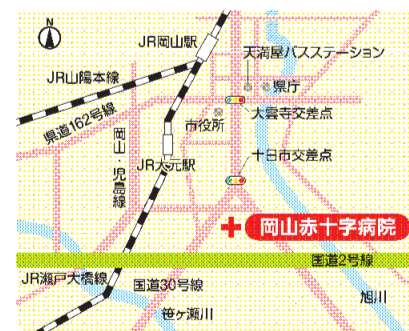


設計コンセプト

既存建物と合わせた、明るいグレーのタイル張り仕上げにより敷地全体の統一感を計り、直線基調としたフォルムのシンプルな外観デザインとしています。原色の色使いを基調としたアースカラーを基調に、床や壁の要所に木目調の仕上げを取り入れ、患者さまの緊張感を和らげる温かみのあるインテリア計画としました。



〒700-8607 岡山県岡山市北区青江二丁目1番1号
TEL.086-222-8811 FAX.086-222-8841
<http://www.okoyama-med.jrc.or.jp> 岡山赤十字病院



設計・監理



株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

大阪事務所/大阪市中央区淡路町4丁目7番5号 本町ハイエストビル TEL.06-6202-4509

施工

大林組・アイサワ工業特定建設工事共同企業体



株式会社 大林組
OBAYASHI 広島支店/広島市中区小町1-25 TEL.082-242-5002



アイサワ工業株式会社
本店/岡山市北区表町1丁目5番1号 TEL.086-225-2151